

〈 新型コロナワクチン接種 〉

2022年（令和4年）

秋から冬にかけての接種【令和4年秋開始接種】
についてのお知らせ



いずれかのワクチンで1回追加接種しましょう



接種の対象と使用するワクチン



■これまで2年間、年末年始に新型コロナは流行しています。**2022年の年末まで**に、重症化リスクの高い高齢者はもとより、**若い方にも**オミクロン株対応2価ワクチン（新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン）による接種を完了するようおすすめしています。

（※）これまでの接種回数に応じ、3～5回目接種として1回の接種が受けられます。

■詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

〈12歳以上の方に使用するワクチン〉

ワクチンの種類	1・2回目接種	3回目以降の接種（注1）	
	12歳以上	12歳以上	18歳以上
ファイザー社ワクチン	○【従来型】	○【オミクロン株対応型】	○【オミクロン株対応型】
モデルナ社ワクチン	○【従来型】	×	○【オミクロン株対応型】
武田社ワクチン （ノババックス）	○【従来型】	×	○【従来型】 ※3回目以降の接種はオミクロン株対応2 価ワクチンが基本だが、選択肢として接 種可能

（注1）最終接種から一定期間（ファイザー社及びモデルナ社ワクチン：3か月、武田社ワクチン（ノババックス）：6か月）以上経過している方は接種可能。

【参考】〈12歳未満（生後6か月～11歳）の方に使用するワクチン（注2）〉

ワクチンの種類	1・2回目接種	3回目接種	
	生後6か月～11歳	生後6か月～4歳	5歳～11歳
ファイザー社ワクチン	○【従来型】	○【従来型】 ※初回接種の3回目として、1～3回目 接種を一連の接種として実施	○【従来型】 ※3回目接種は、初回接種（1・2回目接 種）を終了した後の追加接種として実施

（注2）用量等が違うため、5～11歳には小児用ワクチン、6か月～4歳には乳幼児用ワクチンを使用します。

ワクチン接種の
詳しい情報に
ついてはこちらを
ご覧ください

mRNA
ワクチン
に関する
Q&A ▶



組換え
タンパク
ワクチン
に関する
Q&A ▶



武田社
ワクチン
（ノババックス）
に関する
情報 ▶



生後6か月
～4歳のお子
様の接種に
ついて ▶



5歳～
11歳のお子
様の接種に
ついて ▶



よくあるご質問

Q. 令和4年秋開始接種では、どのワクチンがおすすめですか。

A. 令和4年秋開始接種においては、基本的にはオミクロン株対応2価ワクチンをおすすめしており、現時点では、ファイザー社及びモデルナ社のオミクロン株対応2価ワクチンを供給しています。何らかの理由でこれら以外のワクチンでの接種を希望される方については、従来型の武田社ワクチン（ノババックス）で令和4年秋開始接種を受けていただくことができます。接種を迷う場合についてはかかりつけ医等にご相談ください。

Q. 従来型の武田社ワクチン（ノババックス）を接種した後にオミクロン株対応2価ワクチンを接種することはできますか。

A. 令和4年秋開始接種として、従来型の武田社ワクチン（ノババックス）を1回接種した場合、オミクロン株対応2価ワクチンを含めその後の更なる追加接種を受けることはできません。

Q. 従来型の武田社ワクチン（ノババックス）の追加接種はオミクロン株にも有効なのでしょうか。

A. 現在流通している従来型の武田社ワクチン（ノババックス）には、現在流行の中心であるオミクロン株の成分は含まれず、従来株の成分のみで作られており、基本的にはファイザー社又はモデルナ社のオミクロン株対応2価ワクチンをおすすめしています。ただし、従来型の武田社ワクチン（ノババックス）の追加接種により、オミクロン株に対する抗体価が上昇することが確認されており、オミクロン株に対しても一定の効果が期待できるとされています。

オミクロン株対応2価ワクチンの効果

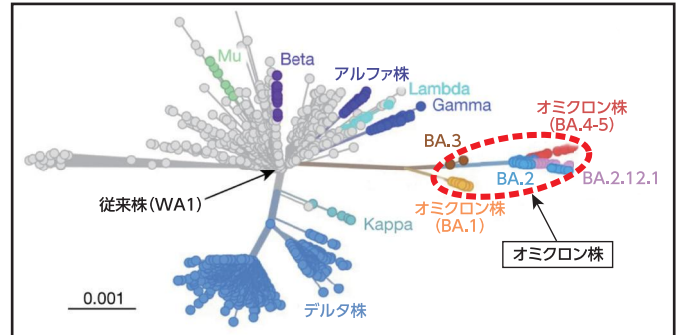


Q. BA.1対応型ワクチンよりBA.4-5対応型ワクチンのほうが効果があると聞きましたが、本当ですか？BA.4-5対応型ワクチンを接種できるようになったので、BA.1対応型ワクチンの接種は控えて、少し待ってでもBA.4-5対応型ワクチンを接種するほうがよいのではないのでしょうか。

A. 現時点の知見を踏まえた専門家による検討では、免疫を刺激する性質を比較した場合、従来株と現在流行しているオミクロン株との差と比較すると、オミクロン株の中での種類(BA.1とBA.4-5)の差は大きくないことが示唆されています。オミクロン株対応2価ワクチンは、オミクロン株の種類(BA.1とBA.4-5)に関わらず、オミクロン株成分を含むことで、現在の流行状況では**従来型ワクチンを上回る効果**があること、オミクロン株と従来株の2種類の成分が含まれることで、**今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いこと**が期待されています。そのため、**その時点で早く接種可能なオミクロン株成分を含むワクチンを接種**いただくようお願いします。

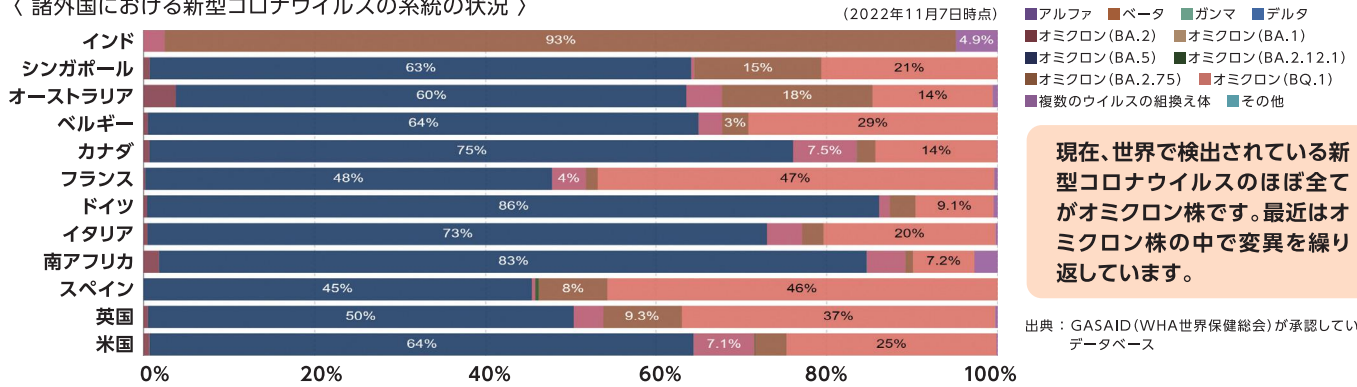


〈新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ(系統樹)〉



(※) 出典をもとに改変
出典：Wang, Q., Guo, Y., Iketani, S. et al. Antibody evasion by SARS-CoV-2 Omicron subvariants BA.2.12.1, BA.4 and BA.5. Nature 608, 603-608 (2022).

〈諸外国における新型コロナウイルスの系統の状況〉



現在、世界で検出されている新型コロナウイルスのほぼ全てがオミクロン株です。最近ではオミクロン株の中で変異を繰り返しています。

出典：GASAID (WHA 世界保健総会) が承認しているデータベース

〈諸外国において、2022年秋以降に追加接種が推奨されているオミクロン株対応2価ワクチン〉 (2022年10月28日時点)

国	推奨の発表機関(※)	推奨の発表日	推奨ワクチン
日本	厚生科学審議会	2022/9/14	BA.1対応型 又は BA.4-5対応型
米国	CDC/FDA	2022/9/1	BA.4-5対応型
英国	JCVI	2022/9/3	BA.1対応型
イスラエル	保健省	2022/9/20	BA.4-5対応型
フランス	保健省	2022/10/6	BA.1対応型 又は BA.4-5対応型
ドイツ	STIKO	2022/10/6	BA.1対応型 又は BA.4-5対応型
カナダ	NACI	2022/10/7	BA.1対応型 又は BA.4-5対応型

(※) CDC：疾病予防管理センター
FDA：食品医薬品局
JCVI：予防接種・ワクチン合同委員会
STIKO：予防接種常設委員会
NACI：予防接種に関する諮問委員会

出典：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料より

◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村等にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

